

Impressa X7 取扱いマニュアル

ユラ インプレッサ X7 ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検

メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. カルシウム除去

定期的にボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐためカルシウム除去が必要です。
カルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきカルシウム除去を行ってください。

3. 毎日の洗浄

長くお使いいただくために洗浄タブレットによる洗浄を毎日行ってください。
毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。
洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は販売代理店でご購入ください。

4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合

故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。

安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為

⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

- コンセントは、100V（ボルト）で機械一台あたり 15A（アンペア）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。
テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ/コードについて

- 機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。
機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。
- 機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。
機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。
お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

- 発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

- 延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。
電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について

- 接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。アース線は機械に付属品としてついています。
- アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。アース線は次の場所に接続しないでください。
①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口
アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒ抽出時の事故防止

- スチームノズルやコーヒ抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 注意：トラブルがあったときの処置

- 機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると火傷や感電する恐れがあります。
- 機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。
- 機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
- ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。
ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

- 火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

- 機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

- 機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

- 機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。
- コーヒ抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

- 定期的に下記の点検を必ず行ってください。
①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
③アース線が正しく接続されていますか。

⚠ 注意：通電について

- 夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。

⚠ 注意：設置環境について

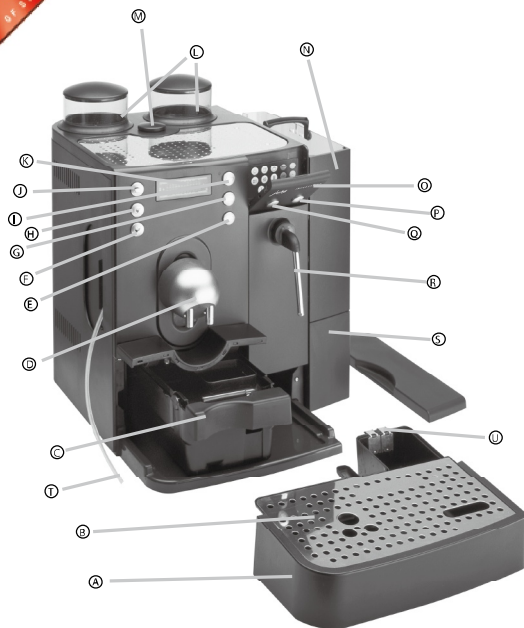
- 周辺温度が 30℃以上になる場所でのご使用はおやめ下さい。

Contrasto
株式会社コントラスト

東京都品川区戸越 5-14-17-201(〒142-0041)
TEL03-3783-8899 FAX03-3783-6589
e-mail : info@contrasto.jp



各部の名称



- A ドリップトレイ
- B ドリップトレイカバー
- C 粕ケース
- D コーヒー抽出口
- E コーヒー2杯取りボタン
- F エスプレッソ2杯取りボタン
- G コーヒー1杯取りボタン
- H エスプレッソ1杯取りボタン
- I ミルク切替ボタン
- J カプチーノボタン
- K ディスプレイ
- L 豆コンテナ（ミル）
- M 洗浄剤投入口
- N 水タンク
- O 設定パネル扉
- P スチームボタン
- Q 給湯ボタン
- R スチーム・給湯ノズル
- S 備品入れ
- T ミルクチューブ
- U 接点電極

初期設定時

①抽出の準備

1. 給水

本体背面の主電源スイッチがONになっていることを確認し、（通常ONのままご使用ください。電源コードを抜き差しする場合はOFFにしてください。）水タンク（N）に半分以上（最大5リットル）水を注ぎ本体にセットしてください。※自動給水（オプション）の場合は給水クランプを水タンクにセットします。

2. コーヒー豆の補給

豆コンテナ（L）に豆を補給してください。（片側最大250グラム）

3. 電源ON

設定パネル扉を手前に開け、設定パネル左上の電源キーを軽く一回押します。



2. 暖機

内部温度が適温に達するのを待ちます。適温になりますとディスプレイの表示がPLEASE WAIT(お待ちください。)から

PLEASE
WAIT

RINSE
UNIT

RINSE UNIT（リンスしてください。）に変わります。

3. リンス（すすぎ）

コーヒー抽出ノズルの下にステンレスカップを置き、設定パネルのリンスキーを押してください。



IMPRESSA X7

リンスが始まり、最初にミルクフォーム抽出口、次にコーヒー抽出口をすすぎます。

5. 抽出準備完了

リンスが終了すると表示がSELECT PRODUCT（メニューをお選び下さい。）に変わり抽出準備が整います。

SELECT
PRODUCT

②コーヒー抽出

1. プログラム設定

本機は専用端末によるプログラム設定で8種類までのコーヒーメニューが登録可能です。あらかじめ登録されたメニューはメンテナンス時にのみ変更可能です。

ここでは初期設定時のメニューでの説明となります。

2. コーヒーの抽出

1杯取りの場合はコーヒー抽出口(D)の2本のノズルの真下にカップを置き抽出口の高さを調整します。



二杯取りの場合は各々のノズルに合わせてカップをセットします。お好みの抽出ボタンを押して下さい。

3. カプチーノ・ラッテの抽出

※フォームドミルクを使用するメニューは一杯取り専用です。

市販の牛乳（成分無調整）を使用してください。ロングライフ・ローファットは目詰まりの原因となります。

ミルクチューブ(T)の先端を紙パックまたは容器・ミルククーラーにとった牛乳に差し込みます。

カプチーノ（ラッテ）用のカップを2本のノズルとその後ろにあるミルク抽出口の真下にカップをセットします。



カプチーノ（ラッテ）抽出ボタンを押します。

最初にミルクフォームが抽出され続いてコーヒーが抽出されます。



4. 給湯/スチーム

給湯ボタン(Q)を押すとスチーム・給湯ノズル(R)から

設定量のお湯が抽出できます。

スチームボタン(P)を押すとスチームが連続して抽出できます。

もう一度押すと止まります。



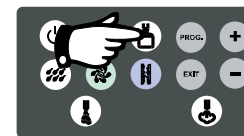
(Q)



(R)

5. ミルクフォームの抽出

ミルクフォームだけの抽出も可能です。下記のミルクフォーム抽出ボタンを押すと予め設定された量のミルクフォームがミルク抽出口から出ます。



6. キャンセル（中止）

各操作を中止したい場合はもう一度同じボタンを押してください。動作は途中で終了します。

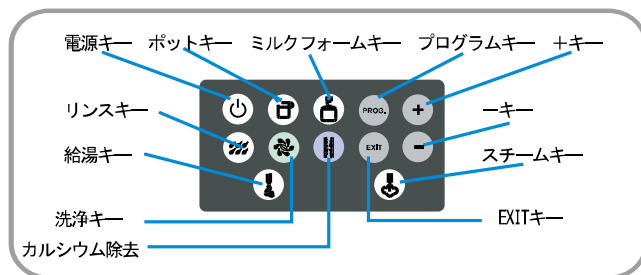


Jura インプレッサX7設定マニュアル

設定できる項目

- コーヒー濃度 (ADJUST COFFEE QTY.) ●抽出温度 (ADJUST TEMPERATURE)
- コーヒー抽出量 (ADJUST WATER QTY.) ●ミルク量 (ADJUST MILK QTY.)
- 給湯量 (HOT WATER PORTION) ●使用水硬度 (WATER HARDNESS)
- 時刻 (TIME) ●オンタイマー (UNIT ON) ●オフタイマー (UNIT OFF)
- 使用言語 (LANGUAGE)

設定パネル



設定メニューへの入り方

PROG. キーをピッと音が鳴るまで長押ししますと、ディスプレイの表示がADJUST COFFEE QTY. に変わります。ここで + - を押すことにより設定したい項目の変更ができます。

●コーヒー濃度の設定ADJUST COFFEE QTY.

ディスプレイにADJUST COFFEE QTY. が表示されていることを確認し PROG. キーを軽く一回押します。

濃度を変えたいメニューキーを押します。

ディスプレイが目盛りに変わり、現在の設定がカーソル（縦線）で表示されます。

このカーソルを + - キーで左右に移動させ濃度を調整します。

右に行くほど濃くなります。※注意 2杯取りを設定しているメニューでは1杯取りメニューを中心より右側に設定しますと2杯取りメニューとの味のバランスが崩れます。左半分で設定してください。

好みの濃度にカーソルを合わせたら PROG. キーを軽く押して決定します。

次に左右のミルのバランスが表示されますので + - キーで設定します。

決定は PROG. キーを軽くおしてください。

別の項目を設定する場合はこのまま + または - キーで設定項目を変更します。

終了する場合は PROG. キーを軽く一回押してSELECT PRODUCT画面に戻ります。

●抽出温度の設定ADJUST TEMPERATURE

設定メニューの状態 で + または - を押してディスプレイにADJUST TEMPERATUREを表示させます。

PROG. キーを軽く押してから抽出温度を変えたいメニューキーを押します。

ディスプレイにメニュー名と現在の設定状態が表示されます。

+ または - キーでTEMP. HIGH. (高温) またはSTAND. TEMP. (通常) を選びます。

決定は PROG. キーを軽くおしてください。

EXIT キーで終了します。

●コーヒー抽出量の設定ADJUST WATER QTY.

設定メニューの状態 で + または - を押してディスプレイにADJUST WATER QTY. を表示させます。

PROG. キーを軽く押してからコーヒー抽出量を変えたいメニューキーを押します。

ディスプレイにメニュー名と現在の設定量が表示されます。

+ キーまたは - キーを押して量の加減を行います。一回押すごとに5mlの調整ができます。

設定が決まりましたら PROG. キーで決定します。

EXIT キーで終了します。※注意 2杯取りメニューの場合は1杯分の量で設定します。

●ミルク量の設定ADJUST MILK QTY.

設定メニューの状態 で + または - を押してディスプレイにADJUST MILK QTY. を表示させます。

PROG. キーを軽く押してからミルク量を変えたいメニューキーを押します。

※注意 ミルクを使わないメニューは無効です。

ディスプレイに現在の設定量が秒数 (SEC.) で表示されます。

+ キーまたは - キーを押して秒数の加減を行います。

設定が決まりましたら PROG. キーで決定します。

EXIT キーで終了します。

●給湯量の設定HOT WATER PORTION

設定メニューの状態 で + または - を押してディスプレイにHOT WATER PORTIONを表示させます。

給湯ノズルの下に量を合わせたいカップを置き給湯キー (H) を押します。

実際に給湯ノズルからお湯が出ますので適量になりましたら、もう一度 (H) を押します。

これで設定完了です。

EXIT キーで終了します。

●使用水硬度の設定WATER HARDN. ※カルシウム除去の周期に関する設定

コーヒーマシーンをカルシウムや水あかによる故障から守るためにご使用になる場所の水質をチェックし、硬度を設定する必要があります。

同梱のWelcome Packに入っているAQUADUR (水質試験紙) でご使用水の高度を測定します。

・試験紙を紙袋から出し一秒間水に浸けます。・水を切り一分間待ちます。・余白の多いほうを右に、左から0, 1, 2, 3, 4, と読み、何番の色まで赤っぽく変色しているかを確認し、その番号が硬度となります。

設定メニューの状態 で + または - を押してディスプレイにWATER HARDN. を表示させます。

PROG. キーを軽く押すと現在の設定数値が点滅します。

+ または - キーを押して測定した使用水硬度の数値に合わせます。

PROG. キーで決定。EXIT キーで終了です。

●時刻の設定TIME

ON OFFタイマーを使用する場合に設定します。

●ONタイマーUNIT ON

設定した時刻に電源が入ります。

●OFFタイマーUNIT OFF

設定した時刻に電源が切れます。

●使用言語LANGUAGE

設定メニューの状態 で + または - を押してディスプレイにLANGUAGEを表示させます。

初期設定ではENGLISHになっています。PROG. キーで選択されている言語が点滅しますので、

+ または - キーで使用言語を変更できます。※日本語はありません。

決定は PROG. キーで終了は EXIT キーです。

■抽出の準備

①給水

本体背面の主電源スイッチがONになっていることを確認し、
(通常ONのままご使用ください。電源コードを抜き差しする場合はOFFにしてください。)
水タンクに半分以上(最大5リットル)水を注ぎ本体にセットしてください。

②コーヒー豆の補給

豆コンテナに豆を補給してください。(片側最大650グラム)

③電源ON

設定パネル扉を手前に開け、設定パネル左上の電源キーを軽く一回押します。



④暖機

内部温度が適温に達するのを待ちます。
適温になるとディスプレイの表示がPLEASE WAIT(お待ちください。)から
RINSE UNIT(リンスしてください。)に変わります。

PLEASE
WAIT



RINSE
UNIT

⑤リンス(すすぎ)

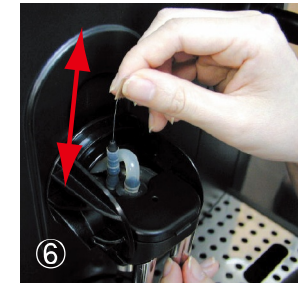
コーヒー抽出ノズルの下にステンレスカップを置き、設定パネルのリンスキーを押してください。



⑥エアーフアンネル清掃

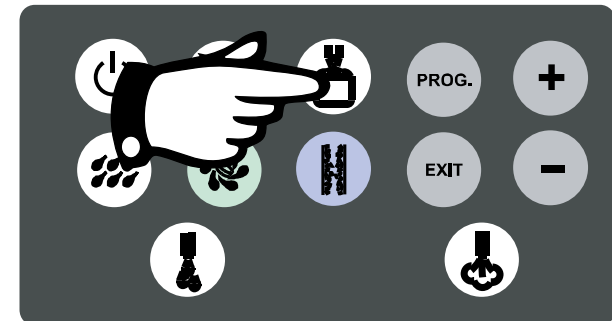
抽出口カバーを外します。
(下部のボタンを押しながら手前にスライドさせる)
付属の針をエアーフアンネルに差し込み、目詰まり
したミルクの粕等を取り除きます。

※注) 付属の針以外は使用しないで下さい。
穴が広がるミルクが出なくなります。



⑦空だし

ミルクホースをミルククーラーのパイプから抜いて手にもち、
ミルクフォームボタンを押して蒸気空だしをします。



■ 日常のメンテナンス

① 水の補給

**FILL
WATER**

水タンクの水が少なくなると左の表示が出ます。
水タンクに水を補給してください。

② コーヒー豆の補給

**FILL
COFFEE BEANS**

豆コンテナの豆が無くなると左の表示が出ます。
左右の豆コンテナに豆を補給してください。

③ ドリップトレイの排水

**EMPTY
DRIP TRAY**

ドリップトレイに排水が溜まると左の表示が出ます。
右の図に従って排水してください。

④ コーヒー粕を捨てる

**EMPTY
DRAWER**

約40杯の抽出で粕ケースがコーヒー粕でいっぱいになります。
右の図に従って捨ててください。



ドリップトレイは前端を軽く上へ持ち上げて手前に引くと簡単に外れます。

！ポイント！
排水したら赤の円で囲んだ接点電極を中性洗剤で洗い、乾いた布で水気を拭き取ってお戻し下さい。



粕ケースはドリップトレイを取り外し、前面カバーを持ち上げると取っ手が見えますので手前へ軽くひくと取り出せます。

■トラブルシューティング

①

RINSE UNIT

が繰り返し表示され
抽出ができない。

水タンクがきちんとセットされているか確認する。〔図a〕

水タンクの下にコーヒー豆などの異物が挟まっていないか確認する。〔図b〕



②

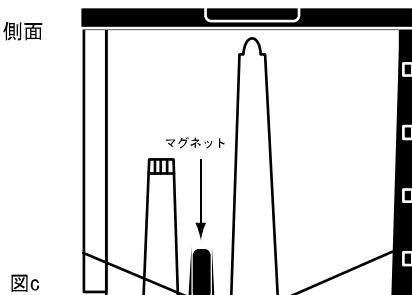
FILL WATER

と表示され
抽出ができない。

水の量を確認する。水が入っているのに表示される場合は水タンクがきちんと本体にセットされているか確認する。〔図a〕

水タンク内の水位感知マグネット（黒いプラスチックの部品）がはずれていないか確認する。〔図c〕

水タンク内側面



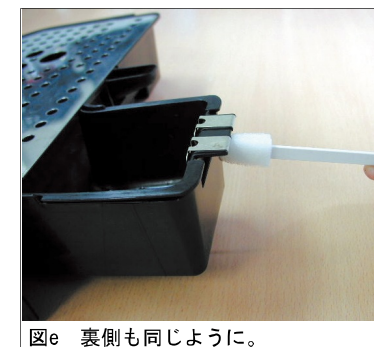
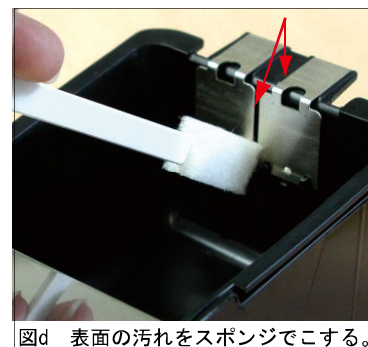
③

EMPTY DRIP TRAY

DRIP TRAY MISSING

と表示され抽出できない。

ドリップトレイ（排水トレイ）に溜まった水を捨てる。捨てても表示される場合は接点電極の間のプラスチック部分を、付属の専用スポンジ棒に中性洗剤をつけて〔図d, e〕のように清掃する。（電極についた水気は必ずふき取ってからセットしてください。）



④抽出ノズルがカバーごと外れてしまう。

「その他の作業」のページをご参照下さい。

⑤ミルクが泡立たない。

ミルクがぬるい。

エアーフANNELの清掃をしてください。

「抽出の準備」のページ、⑥をご参照下さい。

⑥ミルクフォームノズルが外れてしまう。

お電話にてお問い合わせください。

■インプレス X7 トラブルシュート

ディスプレイに表示されるケース				
表示	意味	状態	解決方法	それでも復帰しない場合は
FILL WATER TANK	水タンクに水を入れて下さい	水タンクの水が少ない	水を補給する	★水タンクが正しくセットされているかご確認ください
FILL COFFEE BEANS	コーヒー豆を入れて下さい	豆ホッパーに豆が入っていない	コーヒー豆を補給する	★もう一度抽出を試みて下さい ★豆の油脂でホッパー内が汚れていれば拭き取って下さい
EMPTY DUMP BOX	粕ケースを空にして下さい	粕ケースがコーヒー粕でいっぱいになっている	粕を捨てて下さい	★粕ケースを取り出し、10 秒後に再セットしてください
DRIP TRAY MISSING	ドリフトレイが入っていません	ドリフトレイがきちんと入っていない	ドリフトレイを入れなおす	★ドリフトレイ後端の金属接点をブラシで磨いてみて下さい
EMPTY DRIP TRAY	ドリフトレイを空にして下さい	ドリフトレイが排水でいっぱいになっている	ドリフトレイに溜まった排水を捨てて下さい	★ドリフトレイ後端の金属接点のすきまをブラシで清掃し、(裏側も) 乾いた布で拭き取って下さい
CLEANING NECESSARY	洗浄タブレットによる洗浄が必要です	抽出ユニット内部が汚れている	洗浄タブレットを使って洗浄プログラムを実行して下さい	★洗浄タブレットを使用せずにもう一度洗浄プログラムを行って下さい
DECALCIFYING NECESSARY	カルシウム(水垢)除去が必要です	内部配管に水垢が蓄積しています	カルシウム除去剤を使ってカルシウム除去プログラムを実行して下さい	★カルシウム除去剤を使わずにもう一度カルシウム除去プログラムを行ってください
MALFUNCTION	機能不全	操作不能です	販売代理店にご連絡下さい(電源を切りコンセントを抜いて、15 秒後に再度電源を入れて下さい。一時的に復帰する場合があります)	★販売代理店にご連絡下さい

それ以外のケース		
症状	原因	対応
コーヒーの抽出量が極端に少ない	豆の挽きが細かすぎる	★豆の挽き調整を粗くする
蒸らし後抽出されない	コーヒー豆が十分に供給されていない	★もう一度抽出を試みる
グラインダーの音がうるさい	グラインダーに異物が入った	★販売代理店に連絡して下さい
ミルクの泡立ちが悪く、温度が低い	カプチネーターが汚れています	★カプチネーターの洗浄を行って下さい
スイッチが入らない	背面スイッチが OFF になっている 背面カバーが開いている	★背面スイッチを入れる ★背面カバーを閉じる
リンスをしても繰り返し RINSE UNIT が表示される	水タンクと本体の間に異物が挟まっている 本体給水口が目詰まりしている	★異物を取り除く ★給水口のごみを取り除く

■インプレッサX7ミルクフォーマーの清掃

ミルクの温度が低くなった、ミルクの泡立ちが悪いなどの原因は、ミルクフォーマーファンネル（空気孔）の目詰まりです。下記の要領で清掃してください。

①抽出口カバーを取り外す



カバー解除ボタンを押しながら上部を手前に引くとカバーが外れます。

②付属の針金でファンネルを清掃します。



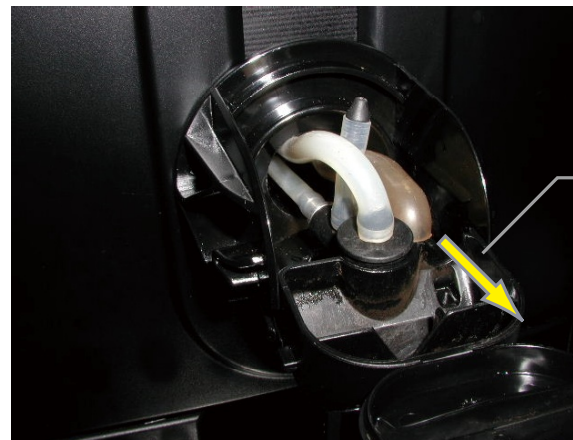
ファンネルの孔を針金で清掃します。
ファンネルの孔を広げないように注意して清掃してください。
付属品以外の針金は使用しないでください。

③抽出口カバーを元通り取り付けます。

取り外したときとは逆にカバー下部から差し込み上部を抽出口に覆い被せるように差し込みます。カチッと音がするまで差し込んでください。

ファンネルの交換

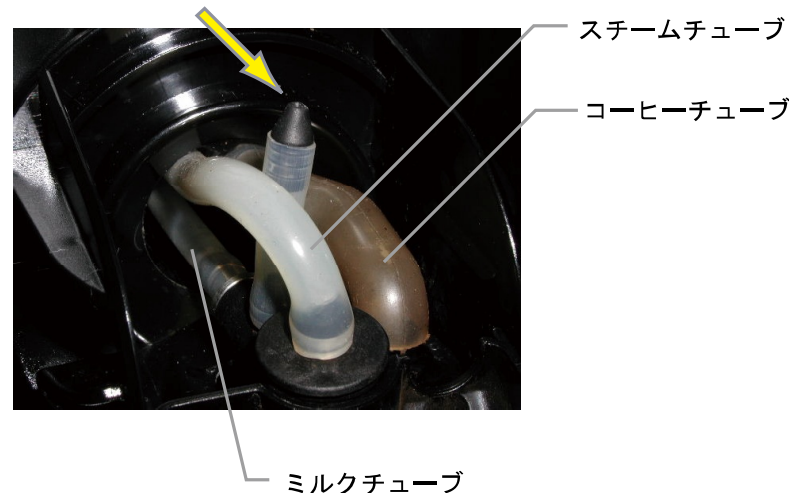
ファンネルの孔が広がってミルクフォームが粗くなった場合は、付属のファンネルと交換してください。



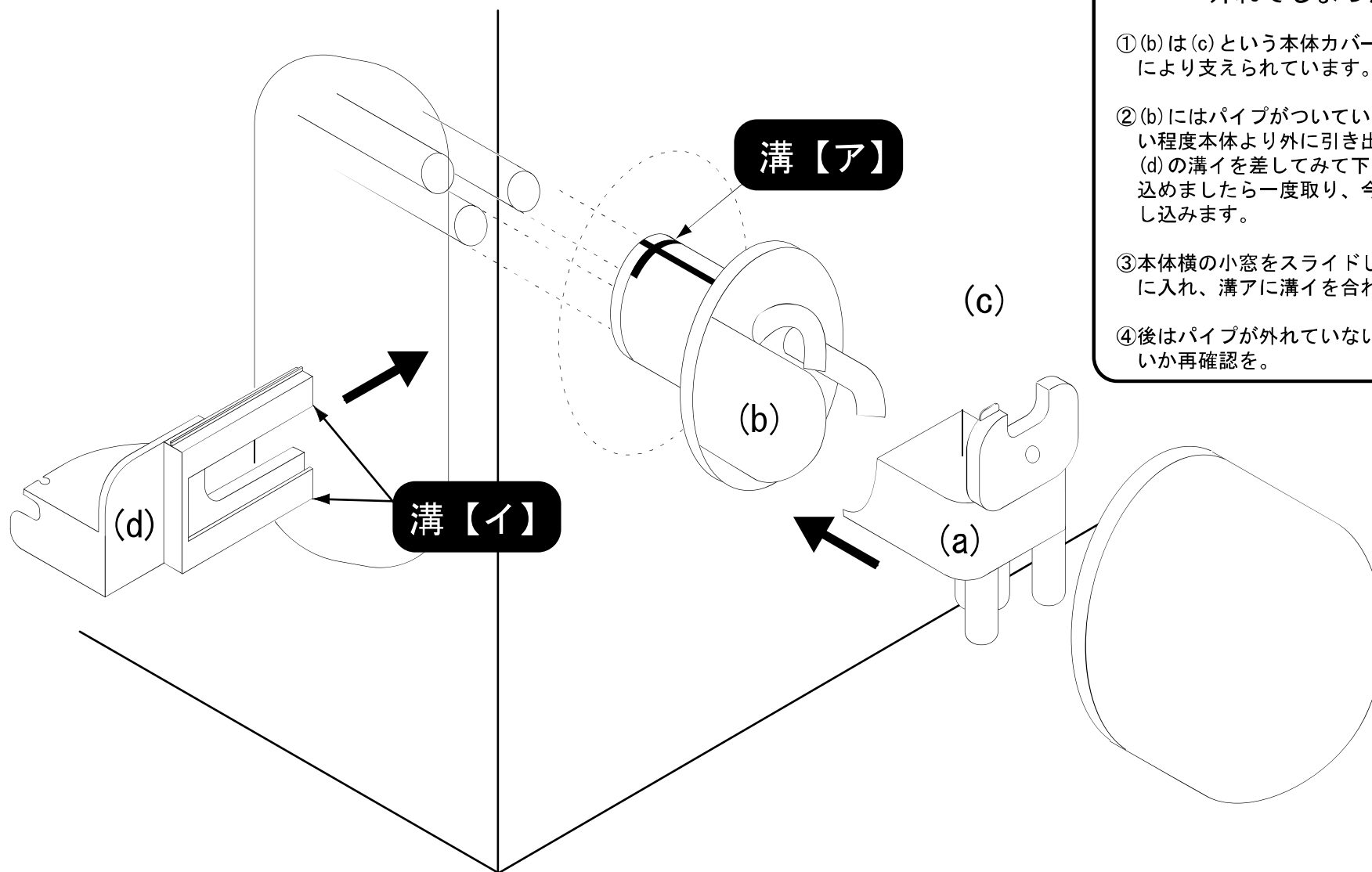
カバーを手前に開け手前に軽く引っ張ります。

注意
強く引っ張らないでください。
配管が抜けます。

先端の黒い部分がファンネルです。



■その他の作業



抽出ノズルがカバーごと 外れてしまった場合

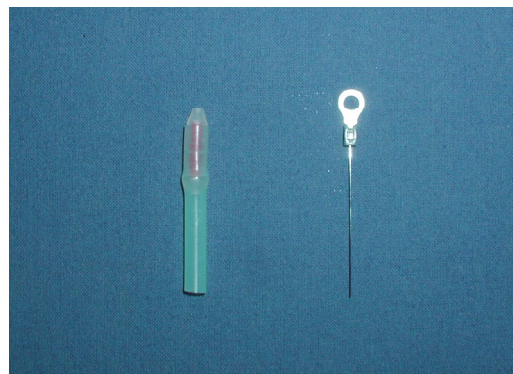
- ① (b)は(c)という本体カバーと穴を通して(d)により支えられています。
- ② (b)にはパイプがついていしますので、抜けない程度本体より外に引き出し溝アを確認し(d)の溝イを差してみて下さい。上手く差し込めましたら一度取り、今度は(b)を穴に差し込みます。
- ③ 本体横の小窓をスライドして開け(d)を内側に入れ、溝アに溝イを合わせて完了です。
- ④ 後はパイプが外れていないか、折れていないか再確認を。

■ 備品

● ステンレスカップ



● エアーファンネル及び清掃用針金



■ 洗浄剤

● カルシウム除去剤



● 洗浄タブレット(1回1錠タイプ)



● ラテ・ウォッシュ





インプレッサX7 カルシウム除去プログラム

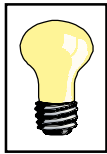
ボイラー等重要部品を守るためのプログラムです。**DECALCIFYING NECESSARY**の表示が出たら必ず実行。
自動給水装置（オプション）をご使用の場合は水タンクから取り外してください。

IMPRESSA X7

下図のように表示されたら
カルシウム除去が必要です

**DECALCIFYING
NECESSARY**

**SELECT
PRODUCT**



ボイラー内部にカルシウムが付着すると重大な故障の原因となります。高額な修理費を避けるために必ず行って下さい。



カルシウム除去プログラム終了まで約40分掛かります。



中断は出来ません。
途中で電源を切ったり
しないでください。

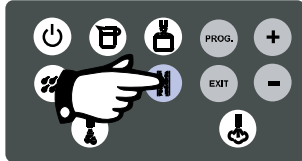
①

前面右上の扉 (0) を開き
カルシウム除去開始のため
に電源をOFFにして
下さい。



②

H を電子音が鳴るま
で押続けて下さい。



**EMPTY
DRIP TRAY**

ドリフトトレイと粕ケース
を取り出し、空にして戻し
て下さい。

③

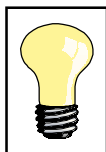
**INSERT AGENT
IN TANK**

**PRESS
DECALCIFYING**

コーヒー抽出ノズルと給湯/
スチームノズルの下に大き
めの容器を置いて下さい。

④

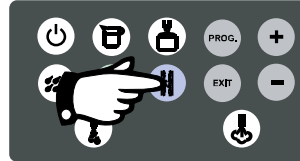
正確に量った700ccの水にカ
ルシウム除去剤 3 錠を完全
に溶かし、空にした水タンク
に注ぎます。



必ず専用のカルシウム
除去剤をご使用下
さい。市販品のご使
用は保証の妨げにな
ります。

⑤

H を軽く一回押しま
す。



⑥

**UNIT
DECALCIFYING**

**PLEASE
WAIT**



ここから終了まで約
31分掛かります。

⑦



**EMPTY
DRIP TRAY**

電子音が聞こえ上のように
表示されたら、ドリフト
トレイと粕ケースを取り出し、
空にして戻して下さい。

⑧

**FILL
WATER TANK**

上の表示に変わりましたら、
水タンクをよく洗いきれい
な水を満たして下さい。

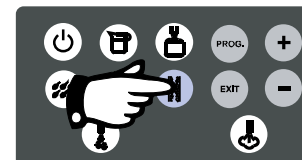
⑨

コーヒー抽出ノズルと給湯/
スチームノズルの下に大き
めの容器を置いて下さい。

⑩

**PRESS
DESCALING**

H を軽く一回押しま
す。



⑪

**UNIT
DECALCIFYING**

**PLEASE
WAIT**



ここから終了まで
約4分掛かります。

⑫

**EMPTY
DRIP TRAY**

**CLEAN
CONTACTS**



表示が変わり、電子音が鳴り
ましたら、ドリフトトレイと
粕ケースを取り出しドリフト
トレイの後部の金属接点部
を掃除します。
トレイと粕ケースを再びセッ
トします。

⑬

電源が自動的にOFFになり
ます。
カルシウム除去プログラムの
完了です。



インプレッサX7洗浄マニュアル（毎日行って下さい。）

IMPRESSA X7

洗浄は毎日終業時に行い、下記の表示が出た際にも行って下さい。

CLEANING
NECESSARY

SELECT
PRODUCT

ミルクラインの洗浄
コーヒーラインの洗浄の前に
ミルクラインの洗浄をします。

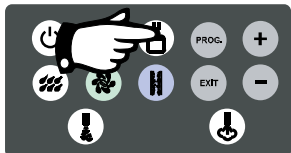
①

250cc（ステンスカップの半分位）のぬるま湯に対し5%（12.5cc/付属の計量カップ使用）のラテ・ウォッシュ（注*1）をよく溶かして洗浄液を作ります。ミルク吸入チューブの先を浸します。（牛乳を吸わせる要領で）

（注*1）まぜるな危険！換気注意
塩素系洗浄剤：酸性製品と混ぜると有害ガスが発生。

②

下図のようにミルクフォームボタンを押し、洗浄液をミルクラインに通します。この作業を洗浄液が無くなるまで繰り返します。



③

今度はカップにきれいなお湯（ぬるま湯）を1杯注ぎ、その中にミルク注入チューブの先を浸し、ミルクフォームボタンを押してチューブ内に残った洗剤をすすぎます。お湯が無くなるまですすぎを繰り返します。

ラテ・ウォッシュは週1回のカプチーノノズルの洗浄にもお使いください。（販売代理店または㈱コントラストにご注文ください。）
1本（1.8kg）で4～5ヶ月お使いいただけます。

コーヒーラインの洗浄

～洗浄の前に～

安全の為一度電源を切り（自動リンスが働く）フィルターを軽く拭き、再度電源を入れ洗浄に入して下さい。

水タンクに半分以上水を入れて行って下さい。（自動給水装置付きの場合は必要ありません。）



洗浄終了まで約20分かかります。



洗浄作業は決して中断しないで下さい。

①

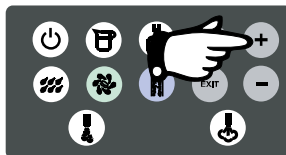
前面右上のドア(0)開き下図の を軽く1回押します。ピッと電子音が鳴り洗浄が始まります。



②

SELECT
CLEANING - +

上のように表示が変わったら下図の を3度押しし、下の表示を出します。



COFFEE
CLEANING

③

下図の を押して下さい。



④

EMPTY
DRAWER

ドリップトレーと粕ケースを取り出し空にして戻します。

⑤

INSERT
TABLET

洗浄剤投入口(M)に洗浄タブレットを2錠入れます。

⑥

PRESS
CLEANING

コーヒー抽出ノズルの下に排水を受ける容器を置き下図の を押します。



⑧

COFFEE
CLEANING

PLEASE
WAIT



ここから洗浄終了まで約13分かかります。

⑨

EMPTY
DRAWER

ドリップトレーと粕ケースを取り出しドリップトレーの後部の金属接点部を掃除します。トレーと粕ケースを再びセットします。

⑩

SELECT
PRODUCT

電源を切り、最後にもう一度フィルターを拭いて終了です。